



平成 27 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代 表 者 名 代表取締役社長 河 南 雅 成
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執行役員管理部長 上 野 昌 邦
(TEL. 011-876-9571)

営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 8 月 12 日付プレスリリースでお知らせいたしましたとおり、経済産業省の平成 25 年度「個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発（国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術）補助事業」に採択され、「低コスト及び低副作用を目指す核酸医薬品－抗体コンジュゲート（NAC）、及びペプチド性細胞毒性化合物－抗体コンジュゲート（PAC）バイオベターの生産技術の開発」を進めております。

この度、当該事業に係る補助金額が確定したことにより、平成 28 年 3 月期第 1 四半期において、補助金収入として営業外収益を計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上額

補助金収入 20,000,000 円

2. 本事業の状況

がん治療は、分子標的薬や抗体医薬品などの出現により、治療効果が飛躍的に改善したものの、抗体医薬品単体では治療効果が不十分なことも多く、低分子化合物との併用投与が一般的な治療となっております。最近、抗体を薬剤送達システムとして利用し、細胞毒性をもつ低分子化合物を結合した抗体薬物複合体の開発が盛んに行われていますが、正常組織に対しても毒性を示すなど、多くの課題を残しております。

本事業は、このような従来の抗体薬物複合体がもつ副作用をより低減した新規のバイオコンジュゲート抗がん剤の創製に取り組むものであり、平成 26 年度の研究開発活動はほぼ計画どおりに進捗し、キャリアー抗体の形状研究並びに NAC 及び PAC の評価法構築等の成果を挙げることができました。

3. 今後の見通し

経済産業省の当該補助金は、当該事業に係る研究開発費の実支払額の 3 分の 2 を 3 年間にわたり補助するものであり、今回の交付は 2 年目（平成 26 年度）の研究開発活動に係るものであります。また、平成 27 年度につきましては、独立行政法人日本医療研究開発機構（我が国の医療分野における研究開発の一元化と司令塔の役割を目指し、平成 27 年 4 月に発足した各省庁横断の新組織）の委託事業として引き継がれることとなりますが、実質的内容には大きな変更はありません。

なお、本件につきましては、平成 27 年 4 月 10 日付「平成 28 年 3 月期に係る業績予想に関するお知らせ」にて公表いたしました平成 28 年 3 月期の業績予想に織り込んでおります。

以 上